



# 令和 6 年度世田谷区中学校生徒会サミット

## 生徒会サミットの目的

区内の中学生が、他の学校の生徒と学校の実態についての情報交換や、疑問・課題等を協議することを通して、自分たちの学校生活を主体的によりよいものにしていこうとする態度を身に付けるための機会とする。

### 第 1 回生徒会サミット

第 1 回生徒会サミットでは、昨年度に各校で策定した、「学校をよりよくするための 3 力条」を実現するための「わくわくする企画」を立案し、実行していくこと全体で確認しました。



全体会では、はじめて出会うメンバーとアイスブレイクを通して交流し、お互いの仲を深めたことで、話しやすい温かな雰囲気になりました。

その後、ブロックごとに、各校の取組の紹介やこれから実施したい企画案に対して、どのように取り組めば実現できるかを話し合いました。

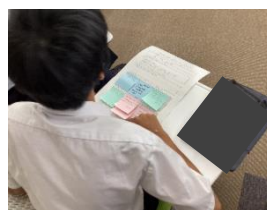
各ブロックの発表では、「ボランティアに参加すると名札にシールが貼られていく。」「演劇部と連携して啓発動画を作成する。」などのアイデアが共有されました。



### 第 2 回生徒会サミット

第 2 回生徒会サミットでは、各校で企画について、企画をよりわくわくしたものにすることを目的に協議を行いました。

協議前のアイスブレイクでは、面識がない人との交流を通して、相手がどう思うか想像することを体験しました。



その後は、各校で企画した取組を基に、企画をよりわくわくできるようにする意見を他校から貰ったり、困り感を共有し、課題点の克服を検討したりして、実りある時間になりました。

また、先生方もブロック会議に向けて、生報告会に向けてのスケジュール等について、生徒の協議と並行して打ち合わせを行い、生徒会サミットをよくするために話し合いました。



## ブロック会議



世田谷区立中学校は全部で29校あり、1ブロックから4ブロックの4つの地区に分かれています。各学校で検討した「学校をよりよくするための3カ条」を実現するための「わくわくする企画」の実施に向けた情報共有を行いました。また、他の学校に伝わるように発表することをゴールとして、各ブロックで協議を行い、各校の企画をさらによりよくするとともに、他校に「この学校に通いたい」「この学校の真似がしたい」といった思いを与える発表を考えました。



## 生徒会サミット報告会

各校の取組や成果と課題、来年度に向けての改善策など、各校の特色を生かした様々な内容の発表を行いました。



＜発表の中で生徒から出された各校の取組の成果について＞

・生徒同士の交流が深まり、学年間の壁を越えた活動が活発化した。・挨拶やコミュニケーションの習慣化が進み、学校全体の雰囲気明るくなった。・生徒の自主性が向上し、自分たちで考えて行動する機会が増えた。・環境美化やボランティア活動が活発になり、社会貢献の意識が高まった。



＜生徒会サミットを終えた生徒の感想＞

・自分たちでは思いつかなかった発想や、色々な人のワクワクの定義を知ること、このような企画は面白いのでは？こういうのはやったことはなかったけどやってみようかな？など視野を広げて話し合いをすることができた。

・ワクワクする企画のために各校が交流する企画や対抗する企画などを挙げていて、自分の学校との課題と違いがあっても、目指す先が同じなので、今回学んだことを校内の生徒会の生徒に伝えたいと思った。

・自分の学校にはどんな課題があり、それを解決するためにどのような活動をすればいいのか真剣に考え、取り組むことの大切さを改めて学べる機会であったと感じています。また、この取組を通して、自校で掲げた目標を達成することができたことに加え、他の学校の活動を積極的に知ろうとする、そして生かそうとするという姿勢を身をもって感じられたと考えます。



・課題を見つけ、その問題を解決するための改善策を考える、思考の柔軟性を身につけることができました。また、初対面の他校の生徒会役員と交流し、コミュニケーション能力も養うことができました。



・ゼロの状態から企画実施のために何をすれば良いのかを学べた。初めて会う人と意見交換ができるようになった。他校の取組の発表で、アイデアを沢山集められた。